ALESCO

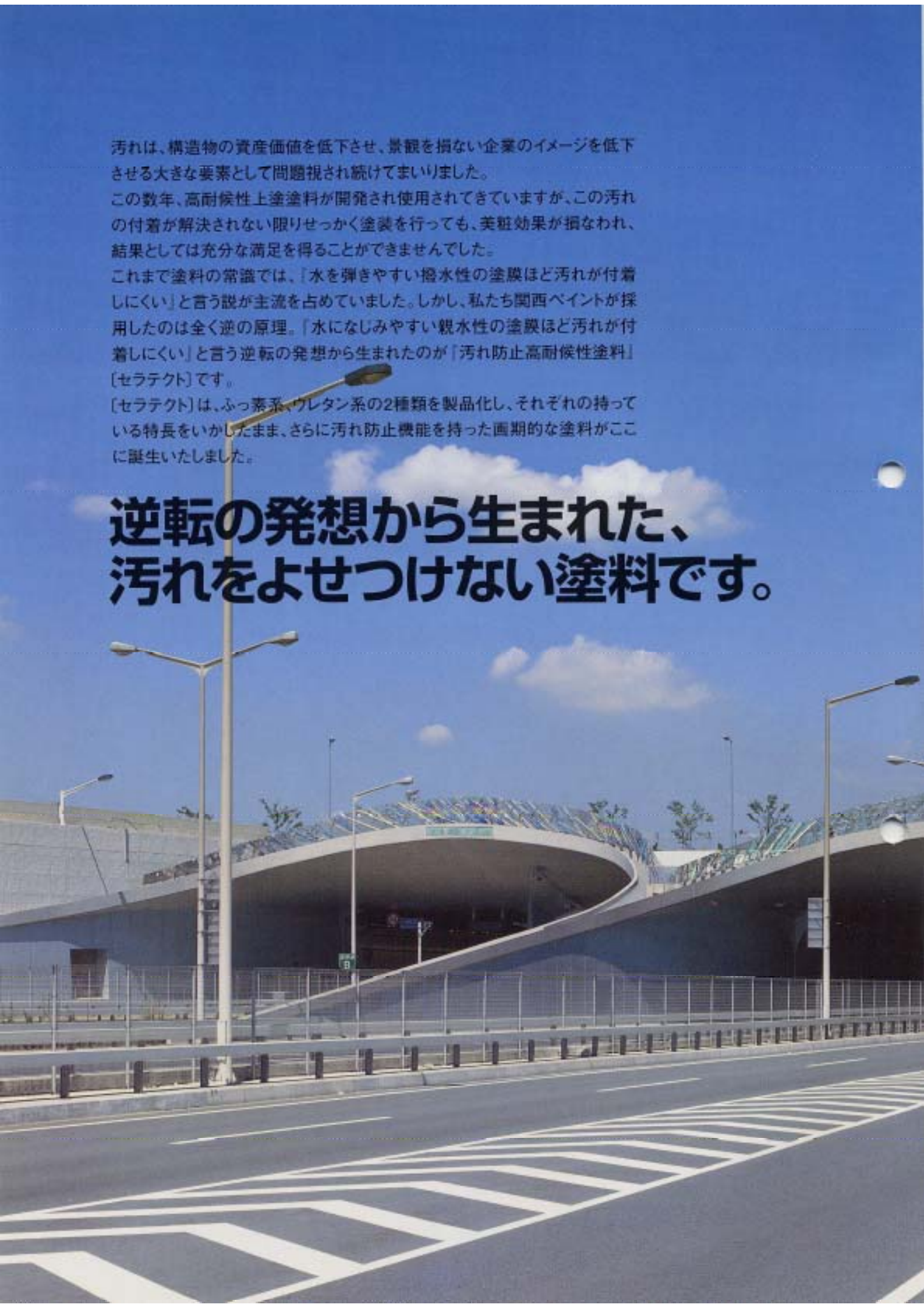
汚れ防止形高耐候性塗料

セラテクト

セラテクトF・セラテクトU

汚れから景観をまもる。

関西ペイント株式会社



汚れは、構造物の資産価値を低下させ、景観を損ない企業のイメージを低下させる大きな要素として問題視され続けてまいりました。
この数年、高耐候性上塗塗料が開発され使用されてきていますが、この汚れの付着が解決されない限りせっかく塗装を行っても、美粧効果が損なわれ、結果としては充分な満足を得ることができませんでした。
これまで塗料の常識では、「水を弾きやすい撥水性の塗膜ほど汚れが付着しにくい」と言う説が主流を占めていました。しかし、私たち関西ペイントが採用したのは全く逆の原理。「水になじみやすい親水性の塗膜ほど汚れが付着しにくい」と言う逆転の発想から生まれたのが「汚れ防止高耐候性塗料」〔セラテクト〕です。
〔セラテクト〕は、ふっ素系、ウレタン系の2種類を製品化し、それぞれの持っている特長をいかしたまま、さらに汚れ防止機能を持った画期的な塗料がここに誕生いたしました。

逆転の発想から生まれた、汚れをよせつけない塗料です。

セラテクトは汚れから構造物をまもる

セラテクトF
ふっ素樹脂系汚れ防止塗料

セラテクトU
ウレタン樹脂系汚れ防止塗料

セラテクト

■セラテクトの設計コンセプト

景観への配慮

汚れが多い環境の存在
都会型汚れ
＝
親油性物質

高耐候性
塗料へのニーズ

低汚染性の高い
塗料へのニーズ

汚れの除去性の向上
＝
降雨による除去を促進

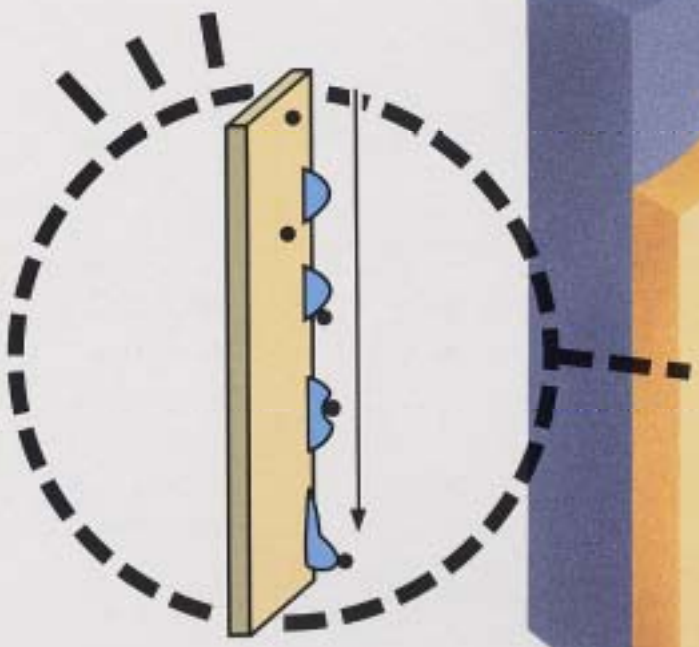
親水性塗膜
＝
水になじみやすい性質

雨をウォーターカーテン化
して汚れを洗い流す

高耐候性の維持

表面エネルギーコントロール塗膜
セラテクト

親水性塗膜が雨粒を均一にコントロール。ウォーターカーテンが汚れを洗い流します。

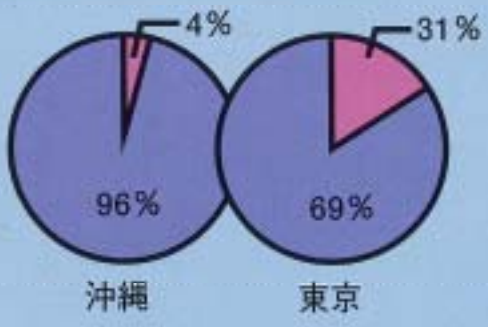


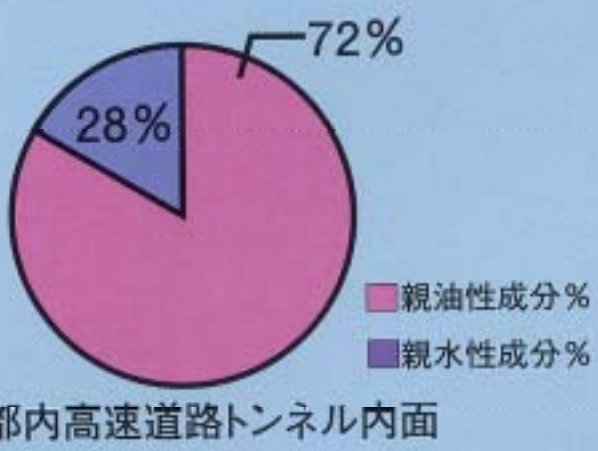
すでに付着している若干の汚れも、雨水と親水性塗膜とのなじみが良いため置換され、クリーニングされる。

注）セラテクトは塗装2～3ヶ月後から汚れが落ちはじめます。（そのまでに付着した汚れも同時に除去されます。）雨水などの水分のかかりにくい塗面では、更に汚れ落ちが遅くなる場合があります。

Q.なぜ親水性塗膜が「汚れ」に有効なのでしょう?

汚れの強い環境では、親油性（有機系）成分の構成比が高いからです。



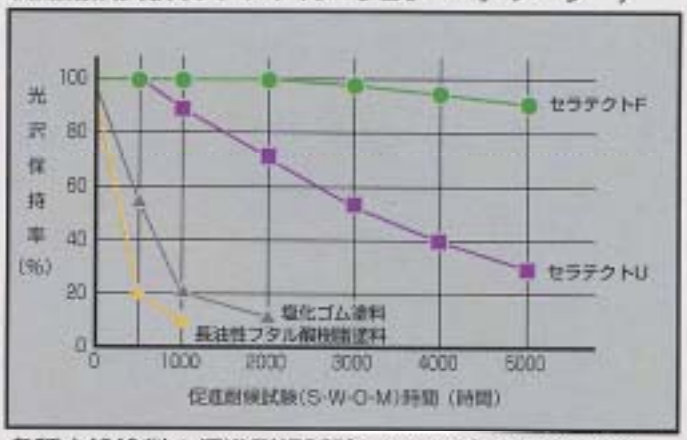


1）汚れ物質には、有機系（親油性）と無機系（親水性）の成分からなります。
2）汚れの強い環境では、有機系の汚染物質の構成比が高く、この有機系の汚染物質の主な汚染源は車両の排気ガス、タイヤやアスファルトの磨耗物であります。よって有機系の構成比が多くなると汚染が強い環境と判断できます。
3）親水性の無機質系汚染成分は降雨などで洗浄されやすい。

低汚染性と高耐候性を同時に実現しています。

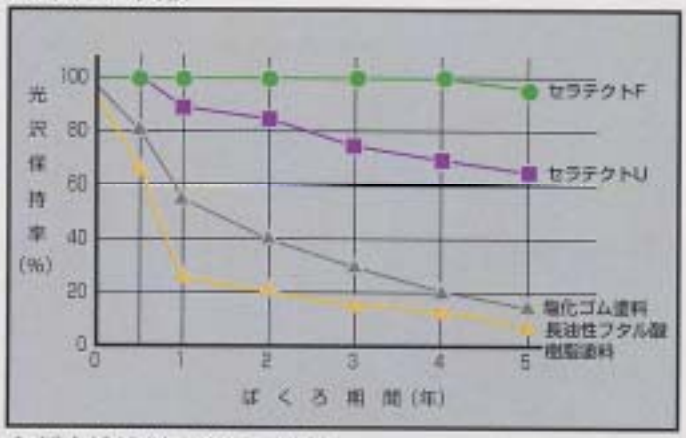
セラテクトは、低汚染性と高耐候性を兼ね備えた全く新しいタイプの塗料。構造物の美観と資産価値を長期にわたって維持します。

促進耐候試験（サンシャイン・ウェザー・オ・メーター）



各種上塗塗料の促進耐候試験における光沢保持試験

屋外ばくろ試験



各種上塗塗料の光沢保持性

Q.従来形とセラテクトでは、どれほど性能の差があるのでしょう?

下記のばくろ試験結果をご覧ください。（当社比）

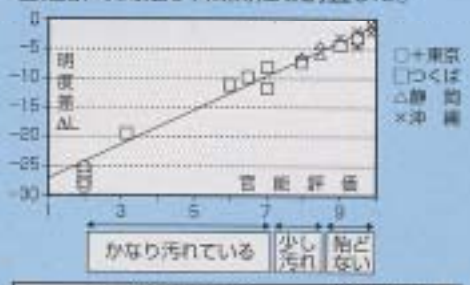
〈屋外ばくろ試験1ヵ年の結果〉

セラテクトF	従来形ふっ素樹脂塗料

セラテクトU	従来形ウレタン樹脂塗料

〈汚れの官能評価と明度差〉

汚れに対する官能評価を定量的に判断するため、汚染程度を官能的に10段階に区分し、評価した。同一物件の明度差を色差計で測定し、相関性を調査した。



官能評価		明度差(ΔL)
殆ど汚れを感じない	9点以上	-3以上
少し汚れている	7~9点	-3~-10
かなり汚れている	7点以下	-10以上

誰もが汚れていると判断する明度差はΔLで-10以上である。

セラテクトFの塗膜性能

試験項目		試験条件		結果
一次物性	光沢	60°鏡面反射率		80
	鉛筆硬度	20℃×75%RH 7日間乾燥後		F
	付着性	2mm巾 5×5ゴバン目		25/25
	耐衝撃性	φ1/2インチ×300g×50cm		異常なし
	耐屈曲性	φ10mm		異常なし
耐薬品性	耐アルカリ性	20℃・5%苛性ソーダ液 30日浸漬		異常なし
	耐酸性	20℃・5%硫酸水溶液 30日浸漬		異常なし
防食性	耐水性	20℃・上水 30日浸漬		異常なし
	耐塩水性	20℃・3%食塩水 30日浸漬		異常なし
	耐ブリスター性	50℃・95%RH 500時間		異常なし
	耐ソルトスプレー性	35℃・5%食塩水 5,000時間		異常なし
促進耐候性		サンシャインW-O-M 6,000時間	光沢保持率	90%以上
			外観	異常なし
屋外ばくろ耐候性		東京都大田区（3年間）	光沢保持率	90%以上
			外観	異常なし

注）供試塗装系
一次物性：磨き軟鋼板に直接セラテクトF上塗を塗装
耐薬品性：ブラスト処理鋼板～エポマリンプライマー（60μm×2回）～セラテクトF中塗（30μm）～セラテクトF上塗（25μm）
その他：ブラスト処理鋼板～SDジンク1000（15μm）～エポマリンプライマー（60μm×2回）～セラテクトF中塗（30μm）～セラテクトF上塗（25μm）

セラテクトUの塗膜性能

試験項目		試験条件		結果
一次物性	光沢	60°鏡面反射率		80
	鉛筆硬度	20℃×75%RH 7日間乾燥後		H
	付着性	2mm巾 5×5ゴバン目		25/25
	耐衝撃性	φ1/2インチ×300g×50cm		異常なし
	耐屈曲性	φ10mm		異常なし
耐薬品性	耐アルカリ性	20℃・5%苛性ソーダ液 30日浸漬		異常なし
	耐酸性	20℃・5%硫酸水溶液 30日浸漬		異常なし
防食性	耐水性	20℃・上水 30日浸漬		異常なし
	耐塩水性	20℃・3%食塩水 30日浸漬		異常なし
	耐ブリスター性	50℃・95%RH 300時間		異常なし
	耐ソルトスプレー性	35℃・5%食塩水 5,000時間		異常なし
促進耐候性		サンシャインW-O-M 2,000時間	光沢保持率	75%
			外観	異常なし
屋外ばくろ耐候性		東京都大田区（3年間）	光沢保持率	50%
			外観	異常なし

注）供試塗装系
一次物性：磨き軟鋼板に直接セラテクトU上塗を塗装
耐薬品性：ブラスト処理鋼板～エポマリンプライマー（60μm×2回）～セラテクトU中塗（30μm）～セラテクトU上塗（25μm）
その他：ブラスト処理鋼板～SDジンク1000（15μm）～エポマリンプライマー（60μm×2回）～セラテクトU中塗（30μm）～セラテクトU上塗（25μm）

■鉄部新設塗装仕様

工　程	一　般　塗　料　名	製　品　名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m²/回)		標準膜厚 (μm/回)
				ハケ	エアレス	
F仕様　無機質ジンクリッチペイント～エポキシ樹脂系塗料～汚れ防止形ふっ素樹脂系塗料						
素地調整	ブラスト処理(ISO Sa2½)・1種ケレン					
プライマー	アルキルシリケート系厚膜形 無機質ジンクリッチペイント	SDジンク1500A	1	—	0.70	75
ミストコート	エポキシ樹脂系さび止塗料	エポマリンプライマー	1	—	0.16	—
下　塗　り	エポキシ樹脂系さび止塗料	エポマリンプライマー	2	0.24	0.30	60
中　塗　り	ふっ素樹脂用中塗塗料	セラテクトF中塗	1	0.14	0.17	30
上　塗　り	汚れ防止形ふっ素樹脂系上塗塗料	セラテクトF上塗	1	0.12	0.14	25
U仕様　エポキシ樹脂系さび止塗料～汚れ防止形ポリウレタン樹脂系塗料						
素地調整	ブラスト処理(ISO Sa2½)・1種ケレン					
一　次 プライマー	アルキルシリケート系 無機質ジンクリッチプライマー	SDジンク1000	1	—	0.20	20
下　塗　り	エポキシ樹脂系さび止塗料	エポマリンプライマー	2	0.24	0.30	60
中　塗　り	ポリウレタン用中塗塗料	セラテクトU中塗	1	0.14	0.17	30
上　塗　り	汚れ防止形ポリウレタン樹脂系上塗塗料	セラテクトU上塗	1	0.12	0.14	25

注) セラテクトは塗装2～3ヶ月後から汚れが落ちはじめます。(それまでに付着した汚れも同時に除去されます。)雨水などの水分のかかりにくい場所では、徐に汚れ落ちが悪くなる場合があります。

■鉄部塗替塗装仕様

工　程	一　般　塗　料　名	製　品　名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m²/回)		標準膜厚 (μm/回)
				ハケ	エアレス	
F仕様　変性エポキシ樹脂系塗料～汚れ防止形ふっ素樹脂系塗料						
素地調整	パワーツール処理(ISO St3)・3種ケレン					
補修塗り	変性エポキシ樹脂系さび止塗料	エスコNB	(1)	0.24	—	(60)
下　塗　り	変性エポキシ樹脂系さび止塗料	エスコNB	2	0.24	—	60
中　塗　り	ふっ素樹脂用中塗塗料	セラテクトF中塗	1	0.14	—	30
上　塗　り	汚れ防止形ふっ素樹脂系上塗塗料	セラテクトF上塗	1	0.12	—	25
U仕様　エポキシ樹脂系さび止塗料～汚れ防止形ポリウレタン樹脂系塗料						
素地調整	パワーツール処理(ISO St3)・3種ケレン					
補修塗り	変性エポキシ樹脂系さび止塗料	エスコNB	(1)	0.24	—	(60)
下　塗　り	変性エポキシ樹脂系さび止塗料	エスコNB	2	0.24	—	60
中　塗　り	ポリウレタン用中塗塗料	セラテクトU中塗	1	0.14	—	30
上　塗　り	汚れ防止形ポリウレタン樹脂系上塗塗料	セラテクトU上塗	1	0.12	—	25

注) セラテクトは塗装2～3ヶ月後から汚れが落ちはじめます。(それまでに付着した汚れも同時に除去されます。)雨水などの水分のかかりにくい場所では、徐に汚れ落ちが悪くなる場合があります。

■コンクリート新設塗装仕様

工　程	一　般　塗　料　名	製　品　名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m²/回)		標準膜厚 (μm/回)
				ハケ	エアレス	
F仕様　エポキシ樹脂系塗料～汚れ防止形ふっ素樹脂系塗料						
素地調整	パワーツールにて、表層のホコリ、レイタンス、汚れ、塩分等を除去する。(含水率8%以下、PH10%以下)					
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	KCエポプライマー	1	0.10	—	—
パ　テ	エポキシ樹脂パテ	KCエポパテ	1	0.50	—	—
中　塗　り	エポキシ樹脂系中塗塗料	KCエポ中塗	1	0.26	—	60
上　塗　り	汚れ防止形ふっ素樹脂系上塗塗料	セラテクトF上塗	1	0.12	—	25
U仕様　エポキシ樹脂系さび止塗料～汚れ防止形ポリウレタン樹脂系塗料						
素地調整	パワーツールにて、表層のホコリ、レイタンス、汚れ、塩分等を除去する。(含水率8%以下、PH10%以下)					
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	KCエポプライマー	1	0.10	—	—
パ　テ	エポキシ樹脂パテ	KCエポパテ	1	0.50	—	—
中　塗　り	エポキシ樹脂系中塗塗料	KCエポ中塗	1	0.26	—	60
上　塗　り	汚れ防止形ポリウレタン樹脂系上塗塗料	セラテクトU上塗	1	0.12	—	25

注）セラテクトは塗装2～3ヶ月後から汚れが落ちはじめます。（それまでに付着した汚れも同時に除去されます。）雨水などの水分のかかりにくい塗面では、更に汚れ落ちが良くなる場合があります。

セラテクトは景観を悪くする雨垂れ跡汚れにも効果的です。

大気中のあらゆる汚れを集めた雨は汚れの犯人です。特に雨垂れは汚れた雨を同じ個所に繰り返し流すため、不均一なすじ状の汚れとなり全体汚れに増して景観を悪くします。

●従来ふっ素

●セラテクトF

セラテクトの雨垂れは跡は従来形塗料に比べて明らかに少なく、セラテクトの親水性表面はこの雨垂れにも効果があります。
（当社比：屋外ばくろ6ヶ月後の状態）

■塗替塗装仕様については別途ご相談ください。

■ご使用上の注意事項

製品取扱い上の注意事項（安全衛生他）

安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

一般的注意事項	●引火性の液体で火気厳禁ですので、火気のある所では使用しないでください。 ●吸入したり、皮ふに触れたりすると中毒やかぶれ、その他の健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
取扱い方法	●取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。 ●塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。 ●取扱い中はできるだけ皮ふに触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、保護手袋、更に頭巾、長袖の作業衣、えり巻きタオル等を着用してください。 ●こぼれた時には砂等を散布した後、布類（ウェス）で拭き取ってください。塗料の付いた布類や塗料かす、スプレーダスト等は必ず水に浸して処理してください。 ●取扱い後は洗顔、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行ってください。 ●皮ふに付着した時には、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じた時には、医師の診察を受けてください。
救急処置	●目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 ●蒸気やガスを吸って不快な時には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
火災時の処置	●火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
貯蔵保管方法	●完全にフタをし、一定の場所を定めて、子供の手の届かない所に保管してください。
廃棄方法	●捨てる時は、産業廃棄物として処理してください。
誤使用防止	●本来の目的以外（シンナー遊び等）に使用しないでください。

詳細な内容は、化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

■荷姿

セラテクトF中塗
18kgセット
ベース：15kg
硬化剤：3kg
ベース/硬化剤＝5/1

セラテクトU中塗
18kgセット
ベース：15kg
硬化剤：3kg
ベース/硬化剤＝5/1

セラテクトF上塗
16kgセット
ベース：13.3kg
硬化剤：2.7kg
ベース/硬化剤＝5/1

セラテクトU上塗
16kgセット
ベース：13.3kg
硬化剤：2.7kg
ベース/硬化剤＝5/1

ALESCO

関西ペイント株式会社

関西ペイント販売株式会社

本社　〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12番1号
TEL (03) 5711-8901　FAX (03) 5711-8931

東北営業部　〒983-0034 仙台市宮城野区岡田西町3-40 (KSロビル)
TEL (022) 287-2721　FAX (022) 288-7073

東京営業部　〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12番1号
TEL (03) 5711-8901　FAX (03) 5711-8931

千葉営業所　〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6-27-18 (YSビル4F)
TEL (043) 297-3811　FAX (043) 297-3710

多摩営業所　〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町二本木551-2
TEL (042) 557-7811　FAX (042) 557-7810

長野営業所　〒388-8008 長野市吉臨場2丁目38
TEL (0262) 93-5454　FAX (0262) 93-5457

新潟営業所　〒950-0088 新潟市万代5丁目7-2 (ダイアパレスシアーズ万代)
TEL (025) 246-3347　FAX (025) 241-9442

静岡営業所　〒417-0002 富士市依田橋字下三条218-1
TEL (0545) 32-1242　FAX (0545) 32-0537

浜松営業所　〒430-0926 浜松市鍛冶町328-1 (ハママツ・エキナン・ヌルボビル)
TEL (053) 458-6226　FAX (053) 458-6238

北関東営業所　〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷1丁目1-7 (ビックビー宇都宮駅前)
TEL (028) 637-8200　FAX (028) 637-8223

前橋営業所　〒371-0804 前橋市六供町1丁目19-1 (YK第1ビル)
TEL (027) 243-0388　FAX (027) 243-0398

中部営業部　〒460-0007 名古屋市中区新栄1-29-25
TEL (052) 262-0821　FAX (052) 262-0381

三重営業所　〒510-0131 三重県三重郡朝日町大字小向1804-5
TEL (0593) 67-3313　FAX (0593) 67-4887

大阪営業部　〒564-0051 大阪府吹田市豊津町13番45号
TEL (06) 6337-0761　FAX (06) 6330-2751

広島営業所　〒732-0052 広島市東区光町1丁目12番16号
TEL (082) 262-7101　FAX (082) 264-3285

岡山営業所　〒700-0976 岡山市原尾島2番109号
TEL (086) 245-9455　FAX (086) 245-9460

神戸営業所　〒653-0023 神戸市中央区神鉄通6丁目1番21号神鉄ビル3F
TEL (078) 360-1441　FAX (078) 360-1407

金沢営業所　〒924-0013 石川県松任市番匠町50番地1
TEL (076) 275-7200　FAX (076) 275-7500

株式会社カンペ共販北海道

本社　〒061-3244 北海道石狩市新港南2-718-4
TEL (0133) 64-2424　FAX (0133) 64-5757

株式会社カンペ共販四国

本社　〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2-68
TEL (0877) 24-5464　FAX (0877) 24-4960

高知営業所　〒780-8010 高知市桟橋通1-8-1
TEL (088) 831-1577　FAX (088) 831-2528

松山営業所　〒790-0041 松山市桑原上2-10-24
TEL (089) 934-8088　FAX (089) 934-9166

株式会社カンペ共販九州

本社　〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-6-8
TEL (092) 411-9901　FAX (092) 441-3339

北九州営業所　〒807-0811 北九州市八幡西区岡北町2-10
TEL (093) 601-1336　FAX (093) 631-1371

熊本営業所　〒861-4101 熊本市近見8-14-66
TEL (096) 358-4011　FAX (096) 358-4014

鹿児島営業所　〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目8-5
TEL (099) 266-2960　FAX (099) 266-2962

沖縄営業所　〒901-2122 沖縄県浦添市前田高原3-6-1 新垣産業ビル4階
TEL (098) 870-8703　FAX (098) 870-8652

● 関西ペイントホームページアドレス http://www.kansai.co.jp/

ご用命は

※製品改良のため予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。
※このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.307
(171002PKI)